

ほげんだより11月

〈11月の保健目標〉

心の健康について考えよう

豊見城中学校 保健室

2022年11月発行

～自分のことは自分で決められるように～

11/21、講師に助産院きらきらで勤務されている百名 奈保（ひゃくな なお）先生をお迎えして3年生に性教育講演会を行いました。



《内容の紹介》

- ①相談できる大人を3名見つけておく。
- ②体つき、性欲などには個人差があること。
- ③十代の女の子の妊娠が沖縄は全国より2倍多い
- ④お付き合いは、相手の同意、責任をとる覚悟、経済力
相談できる人の確保、いろんなことが必要！

『感想を紹介します。一部抜粋、まとめています』

- ★人によって思春期の体つき、性欲などに個人差があることを知ってホッとした
- ☆沖縄は10代の妊娠が全国の2倍も多くて驚いた
- ★女子の生理は想像の何倍も大変そう。手助けできるようにしたい。
- ☆自分の体を大切にしたいと思った
- ★今でも男女差別があるから、もっとなくなってほしい
- ☆相談できる大人を見つけない
- ★何かあったら、百名先生にお電話します。よろしくお願いします。
- ☆ピルで生理の日を移動させられるなら、受験とかぶらないようにしたいと親に相談したい
- ★今後の人生で生理が400回もくると知って驚いた
- ☆一番印象的だったのは『自立=ひとり』ではないこと。
- ★父親になるには覚悟と責任が必要だとわかった。
- ☆今まで性のことを気にしていなかったから聞いていてきついと少しきついなと思うこともあったけど、自分にとって大事なことから、聞いて良かった
- ★心の性、性別などは、自分で決めて良いということを聞いて、自分で決めていいんだ、と気がついた
- ☆間違った情報を鵜呑みにしていることがあったとわかった
- ★17歳の女子高生がショッピングモールのトイレで出産、赤ちゃんを殺害という事件を聞いて、お腹が大きくなっている彼女のことを気がつかない周りの大人も大人だと思う

プライベートゾーンは見えない部分、比較できない分、話を聞けると安心だね。
相談できる大人になれるよう、学校もおうちの方も、みなさんのこと待っていますね！

体調を整えて受験に挑めるといいね！
大人になっても、どんどん周りに頼っていい。

心の性、性別は、すぐに決めなくて大丈夫。成長しながら自分の心とゆっくり相談してみよう！
女子高生の子、とっても苦しかったよね。気がつけるように、先生たちも、おうちも、みんなのこと大事に見守るね。

裏面には、百名先生からの情報提供があります。また、お便りで紹介できない資料は学校ホームページに載せています。相談機関もありますので、おうちの方とぜひ、一緒に見てください。